

国語科 中学校3年

単元名 読書生活を充実させよう
「卒業ホームラン」
東京書籍「新編新しい国語3」

単元の流れ（全5時間）

第1次【第1時】（本時）

主な学習内容

学習の目標・計画にしたがって、見通しをもつ。

- ・最後に土手に立っていた人物はだれかを考えながら全文を黙読する。
- ・最後に典子が登場することについて、意見を交流する。
- ・第3次に「最後に典子が登場することについて、本文の叙述を根拠に批評文を書く」ことを予告する。

「活用」の力育成のために

- ①最終的な課題を最初に提示することで、見通しを持った学習をさせる。

第2次【第2時】

主な学習内容

音読を通して登場人物の心情を理解する。

- ・いくつかの会話文を指定し、どのように読むと登場人物の心情が伝わるか、考える。
- ・音読の工夫について、本文の叙述をもとに意見を交流する。

「活用」の力育成のために

- ②本文の記述を根拠にすることを徹底することで、説得力のある文章を書く力を養う。

第2次【第3時】

主な学習内容（グループ学習）

登場人物ごとに心情の変化をとらえる。

- ・班ごとに登場人物を割り当て、その人物の心情の変化をとらえる。
- ・次時の発表に向けて準備する。

「活用」の力育成のために

- ③視点を変えることで、新たな発見があることを体感させる。
- ④わかりやすい発表にするために、図やグラフを用いたり、表現を工夫したりさせる。

第3次【第4、5時】

主な学習内容

各班の発表を聞き、批評文を書く。

- ・各班の発表を聞く。
- ・最後に典子が登場することについて、本文の叙述を根拠に批評文を書く。

「活用」の力育成のために

- ②本文の記述を根拠にすることを徹底することで、説得力のある文章を書く力を養う。

単元目標

- 批評文を書くことを通して、展開や叙述の仕方について、自分の意見を持つ。

単元構成の意図

- ・「批評文」を書くことを目標として学習活動を構成した。批評文は、印象や想像を書くものではなく、本文の記述を根拠に展開や表現について意見を述べるものにするのが重要である。
- ・第2次の「音読」を通じた内容理解は1年次で既習の事項である。ここでは、本文の記述を根拠とすることを徹底する。
- ・第2次後半はグループ学習にした。話し合いを通して、一人では見落としてしまいがちな微妙な心理や話の展開に気付かせたい。
- ・視点を変えることは、読解において大切なことであるが、一人ですべてを読み取ることは困難である。そこで、班ごとに登場人物を割り当てた。

「活用」の力を育てるポイント

- ①最終的な課題を最初に提示することで、見通しを持った学習をさせる。
- ②本文の記述を根拠にすることを徹底することで、説得力のある文章を書く力を養う。
- ③視点を変えることで、新たな発見があることを体感させる。
- ④わかりやすい発表にするために、図やグラフを用いたり、表現を工夫したりさせる。

評価問題

HOME

本時の流れへ